

経営理念

～一人でも多くの幸せのために～

幸福は自分一人では感じにくいです。また、自分のためだけの幸福は本当の幸福とはいいいにくい。誰かのために仕事をする、誰かのために役に立つこと、誰かのためにやったことで感謝される、周りに感謝をする。それこそが幸福と実感する。充足感を感じることができる。そんな社会を目指していきたいです。

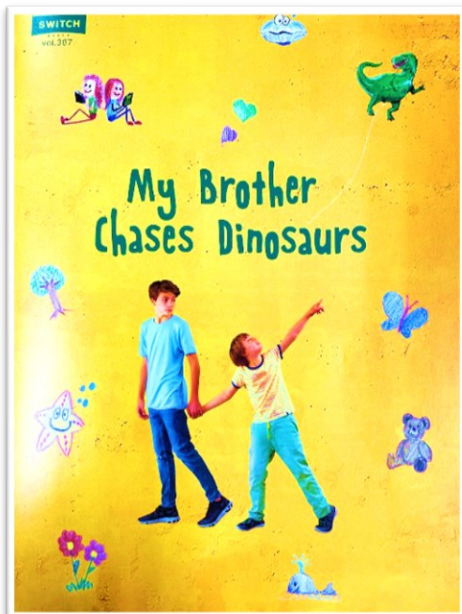
私達の目的

仕事を通じて一人でも多くの人々に安全で安心した生活を提供し、喜びに満ち溢れた幸福な社会を目指していきます。

3月21日は世界のダウン症の日

毎年イレブンエクシード通信3月号では、世界のダウン症の日を取り上げております。

何故3月21日なのかと申しますとダウン症のある人は21番目の染色体が3本あることから、この日が選ばれ、ダウン症のある人たちが自分らしく、安心して暮らしていけるよう世界中で啓発イベントが開催されます。



今年とはある映画のご紹介をしようと思います。私は普段映画を見に行く習慣はないですが、この映画は観てみたいと強く思い足を運びました。



「弟は僕のヒーロー」

STORY

両親、姉2人、兄、ジョー（ダウン症の弟）の家族の物語の映画です。兄のジャックは弟のジョーが生まれてくるのをすごく楽しみにしていました。ダウン症という障害をもった弟を家族は特異な能力をもったスーパーヒーローとして迎え入れるもジャックは、高校生の思春期でジョーを恥ずかしく思うようになり、周りの友達に弟は死んだと伝えてしまいました。その嘘が友達にバレてしまい周りからも軽蔑され学校でも居場所を失ってしまうようになりそんなジャックを救ったのがジョーだったという映画でした。

落ち込んでいるジャックがジョーを抱きしめるシーンがあるのですが、ジャックとジョーのお互いの気持ちがあつてのハグが印象深かったです。この映画のように自分の息子（ダウン症の次男）も家族のスーパーヒーローだと改めて感じました。

映画を見て帰った日は息子をぎゅっと抱きしめていました。



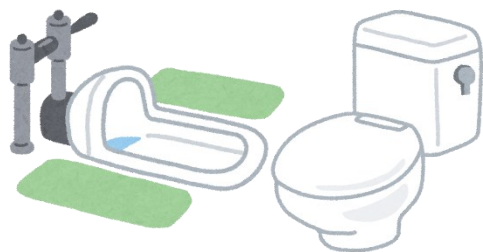
ダウン症だけでなく障がいのある子をきょうだいにもつ人にとって共通のテーマですが、この愛に溢れた日常をぜひ多くの方に見ていただきたいと思う映画でした。映画はもう上映が終わっている為、もし気になられた方は本も販売されているのでぜひ読んでみてください！



「弟は僕のヒーロー」 原著:ジャコモ・マツツアリオール
翻訳:関口 英子

工事のご紹介

和式便器から洋式便器へ
取替工事のご紹介です。
従業員用トイレが和式便器だった為、
従業員より洋式便器へ
変更してほしいとのご要望が上がり
弊社へ取替の依頼をいただいた
事例になります。



取替工事と重ねて、「壁面のタイルを壁紙に変更したい」との要望があり壁紙を貼れるよう壁も造作をいたしました。
今回の工期は5日程で完了しましてスタッフの方にも喜んでいただけました。

今回ご紹介した、取替工事を含め建物に関する様々な工事事例がございます。取替工事はもちろん、今回のように「壁紙にしたい」などお客様のご要望に沿って幅広い対応が可能です。ぜひ、なにかございましたらお気軽にイレブンエクシードまでご相談くださいませ♪



相談支援事業所

イレブンカラオズ 今月の福祉ワード

障がい者手帳

障がい者手帳とは？

何らかの障がいによって自立が困難な方や日常生活に支援を必要とする方に対し、自治体から交付される手帳です。



一般的に「障がい者手帳」と呼ばれるものには、以下の3つの種類があります。

身体障がい者手帳

療育手帳

(名古屋市では愛護手帳といいます)

精神障がい者保健福祉手帳

手帳を取得すると、交付を受けた本人と保護者、
家族に対し、様々な控除やサービスを受けられます



障がい者手帳の取得はもちろん任意ですが、
なかなか「人に知られてしまうのではないかな？」などと自身や家族の障がいに対してうまく向き合えない方もいらっしゃいます。
ただ、障がい者手帳があることで
サービスの調整などスムーズに手続きが進みます。
障がいと上手くつき合うためにも、
特別な理由がないのであれば交付を受けておくことをお勧めします。



「イレブンエクシード通信」は、弊社とお取引させていただいた方に送付させていただいております。
ご不要の場合は、恐れ入りますが、ご一報ください。

イレブン通信
124号

